

目標達成計画

作成日: 令和 元年 6月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	3	地域の方々に、認知症の理解や支援方法を伝えていないのが現状である	グループホームが認知症の方の支援の場である事を地域に理解していただき、その実践経験を伝えることができるようする。	町内会役員や地域包括支援センターと協力して、今まで以上に入居者様と地域が接する機会を多くする。 まずは施設がどのようなものかを理解していただく。	6ヶ月
2	14	同業者との交流については全く行っていない。	我流の運営にならないように、他事業所との交流を図る。 情報交換や勉強会等でサービスの質の向上を図る。	平野区内の同業施設と積極的に連携を行う。	6ヶ月
3	35	災害対策について、事業所独自の防災・避難マニュアルが作成できていない。 非常用備蓄品が不足している。	事業所の現状にあったマニュアルを作成し、それを基に避難訓練等が実施できるようにする。 備蓄品も最低3日以上での確保を行う。	グループ内事業所と連携し、地域(区内)の状況に沿ったマニュアルを作成する。 避難経路についても夜間に運用できるよう再点検を行う。	3ヶ月
4	49	外出支援について、寒暖が極端な日が多く、散歩等の日常的な外出が少なくなっている。 それが一因で職員内でも外出の意識が薄い時がある。	外出に適した天候の際に、短時間でも散歩で外気に触れる機会を設ける。	毎日、外出の時間を設定して職員の意識を高めるようにする。そのうえで天候等の状況により可否を決定する。 地域のふれあい喫茶も活用し、定期的に外出する機会を設ける。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。